

行政と市民が互いに気づきを深めるワークショップ

* 事業構築編 *

寸劇登場人物の設定

行政

子ども家庭課

NPO

ファミリーサポートわいわい

ボランティアネット

ITフォーラム

子ども広場

女性の自立を考える会

寸劇のテーマ

実行委員会形式で、多様な団体が参加して、イベントを行います。
役割分担など事業を決めるにはどうしたら良いのでしょうか。

寸劇シナリオ

次世代育成支援計画が策定されたので、子ども家庭課とNPOが、この計画の発表を行うイベントをすることになりました。そのイベントに向けた話し合いがされています。

○ 子ども家庭課

では、みなさん、こんどのイベントの企画書を作りましょうよ。

市民参画協働課にきいたら、**全体像を明らかにして、共通認識をつくったらどうか**といわれました。

○ ファミリーサポートわいわい

そうですね。呼びかけを効果的にするためにも、共通認識は大事ですよ。

○ 子ども家庭課

チラシとか、印刷する見積もりを取らないといけないし、県の広報に載せるには3ヶ月まえに原稿を出さないといけないです。締切は来週です。みんなの想いがつまった計画

ですから、1面トップを予約しましたよ。

○ 子ども広場

え、来週が締切ですか。でも、イベントの企画書がまだなら、急がないといけないですね。時間があまりありません。

○ 子ども家庭課

大丈夫ですよ。ほとんどは、計画の作成過程から内容を紹介するもので、**イベントは最後に、開催日などをちよろっと載せる**くらいですから。

○ 女性の自立を考える会

DV 家庭における子どもの問題についての取組も入っていましたよね。その課題の取組を具体的に載せていただけないですか。

○ 子ども家庭課

いや～、特定の取組だけ載せるのは、どうかなあ。内容紹介で取組の一つとしてあげるとは可能だともうけれど。広報の記事は、時間がないので、わたしの方で作成しておきますから、NPOのみなさんは、いつもやっているイベントのように、多くの人を呼ぶ工夫をしてくださいよ。**それが、民間の役割**ですから。

○ ボランティアネット

子ども家庭課さん、それは、おかしいですよ。事業を始める前から、どうして民間の役割が決まっているのですか。

○ 子ども家庭課

え、それは、このイベントの予算は、行政で用意しているからですよ。

会場費とか、広報費用とか、**すべて行政の予算**じゃないですか。

予算の費目は、全て昨年の予算時期に決めているので、いまさら変更はできません。

○ ファミリーサポートわいわい

それは、違いますよ。

例えば、**イベントの日程が、平日に設定されています**よね。

わたしたちのメンバーのほとんどは、普段は仕事をしているので、平日に動くことは負担に感じます。行政は仕事ですが、私たちはイベントの準備も仕事を休まないとできません。交通費も自己負担です。わたしたちは、**お金というかたちではありませんが、提供できる資源は持っています。**

それに、**予算の内訳とか、わたしたちに相談されたことはなかった**と思います。

○ 子ども家庭課

だから、必要なものは行政で用意しますよ。**わたしがやれば、ただ**ですから。

資料を作っておきますので、普段の会議で連絡してもらえれば良いのです。

みなさんは、普段の活動の中で、多くの人に声をかけて、**人を集めていただければ、いい**ですよ。

うちのほうとしては、なるべくみなさんの**負担が少なくなるように努力**をしているじゃないですか。

○ 子ども広場

努力していただいていることは、十分わかっているのです。

でも、だから、行政の言うとおりに動いてください、ということは受け入れられないのです。**私たちは、行政の下働きではありません。**

○ 女性の自立を考える会

そうです。

わたしがこのイベントを行政と一緒にやりたいと思っているのは、お金がもらえるからということではありません。この計画に期待しているし、その役割を担っていこうと思っているからです。わたしは、このイベントを主催する側という意識を持っています。子どもの問題に取り組む**当事者として、スタートとなるイベントを成功させたい**のです。

○ ITフォーラム

わたしたちは、みんなで作った次世代育成計画を、**行政と民間の共通の計画として認識**し、子どもたちの問題について取り組んでいきたいのです。

だから、**一方的に民間の役割を決めないで欲しい**のです。

○ 子ども広場

わたしはNPOの代表をしていますが、わたし自身が、団体のミッションと共通しているとして、自発的にやらなければと思えないと、わたしは、メンバーに納得させることができません。つい、**行政に言われたからと逃げてしまいます。**

それに、声をかけたからといっても、趣旨や内容を説明しなければ、実際にはきてくれません。

○ ボランティアネット

はい、みなさん。そこまで、です。

想いは共通ですから、**役割分担も対等に話し合ってください**よ。

NPOが多くの人に呼びかけるという役割を担うことになっても、対等に話し合った結果であれば、私たちは喜んで受け入れます。

わたしたちは、**役割分担だけでなく、プロセスを大事にしたい**のです。

最初にいわれた、**全体像とは、行政の資源だけではなくて、民間の資源を含めての全体が、協働事業**と言うことです。

子ども家庭課さんにも、私たちの想いがわかってもらえたと思います。

○ 子ども家庭課

なるほど、そうですか。

ようやくわかりました。

庁内でも、そこまで当事者意識をもってもらえることはありません。

では、ぜひ、一緒に作りましょう。

でも、締切があるので、広報の件だけは、今日の会議で合意してもらえますか。

○ ファミリーサポートわいわい

それは、もちろんですよ。

きっと、さっきからパチパチとキーボードを叩いている、ITフォーラムさんが、まとめてくれますよ。

チラシのイラストも、子ども広場さんでユースが書いてくれますよ。子どもたちやお母さんの視線で書いたイラストが一番です。

○ 女性の自立を考える会

いや、それは、ジェンダーですよ。

○ ファミリーサポートわいわい

ああ、すいません。

いま、女性の自立を考える会さんがいてくれて、本当にありがたいと思いました。

それぞれでは、**かけている視点を補完していく、それが協働**ですものね。

ぜひ、いろんな視点で、次世代育成を考えるきっかけのイベントにしましょう。